

2.8.3. 教育活動概要

(a) 卒業論文概要

安部 貴則	<p>農産物産地直売所のインターネット販売における業務モデルの提案</p> <p>産地から商品を購入する消費者が増加したため、農産物産地直売所によるインターネット販売が必要とされている。しかし、販売を行う生産者の役割と業務の流れが明確化されておらず、業務の改善が必要である。本研究では、産直インターネット販売における効率的な販売業務を目的とし、業務モデルの提案を行う。また、業務モデルに基づく産直インターネット販売システムを構築し、事例となる対象産直で業務モデルの検証を行う。</p>
川原 啓輔	<p>家畜預託事業の利用者を対象とした業務支援システムの構築</p> <p>個人酪農家による家畜育成の段階は、哺育牛・育成牛・出産後の3つに大別することができ、それぞれの段階で家畜預託事業の利用により家畜育成の方法は異なっている。本研究では、家畜預託事業者から酪農家への情報配信と家畜の全ての育成段階において家畜育成記録情報の管理し酪農家の経営支援に用いる情報システムの提案を行う。これにより個人酪農家の経営の効率化を目指す。</p>
菊池 亮	<p>商店街ポータルサイトにおける行動ターゲティングの提案</p> <p>商店街は顧客の商店街離れが増え、ビジネスとして厳しい状況にある。商店街の再生を考えるには、商いの場としてだけでなく、交流の場としての商店街の魅力を伝える必要がある。本研究では、商店街の魅力を交流の場として捉え、商店街の交流を促進するための情報収集・配信システムの構築を行う。また、来街・来店を促す仕組みとして商店街ポータルサイトにおける行動ターゲティングを提案し、有効性を検証する。</p>
工藤 裕子	<p>地域子育て支援拠点施設における職員を対象とした情報交換の仕組み</p> <p>地域子育て支援拠点施設では、地域の子育て家庭に対する育児支援を行っており、その施設職員の現状として、他施設の職員との情報交換を行う機会が少なく、各施設が閉鎖的になりがちである。本研究では、施設職員同士の繋がりを作り、施設活動の活性化に繋げていくことを目的とし、地域子育て支援拠点施設の職員を対象とした運営状況集約システムの構築を行う。その中で、社会ネットワーク分析を用いた利用促進の仕組みを提案する。</p>
小林 拓也	<p>地域ポータルサイトを対象としたカテゴリ検索における分類手法の構築</p> <p>一般的に情報の検索を行うためにはカテゴリ検索やキーワード検索が用いられる。人手による選択と分類が行われるカテゴリ検索では、情報の増加、内容の変化によってカテゴリや概念体系の変更が必要となる。本研究では、文書分類に基づいた、階層的なカテゴリ構造を示す概念体系の自動生成・更新を行う手法を提案する。また、提案手法に基づいた機能を持った地域ポータルサイトのプロトタイプを構築する。</p>
高橋 寛考	<p>郷土文化を対象としたデジタルアーカイブシステムの構築</p> <p>近年の地域コミュニティ衰退により、郷土で受け継がれてきた文化・知識を継承することが難しくなりつつある。地域特有の文化は、形として残されている物が少なく、また地域の特性を構成する貴重な資源である。本研究では、住民参加型の郷土文化アーカイブ活動を提案し、それを元にアーカイブ活動を支援する情報システムの構築を行う。これにより、文化の保存・継承の支援を目指す。</p>

土谷 彰子	<p>水産物卸売業における仕入れ業務の効率化支援</p> <p>水産物仲卸業における仕入れ業務は、主に仕入れ担当者の記憶と経験を基に行われているのが現状である。業務の効率化のためには、情報を素早く整理し、必要な情報をいつでも引き出せるようにする必要がある。本研究では水産物の卸売業を対象としてシステムを導入し、仕入れ情報の収集を行う。また、過去の仕入れ実績から商品の仕入れ傾向を分析し、その後の販売予測の意思決定に利用する。</p>
中村 太一	<p>地域包括ケアを対象とした業務支援システムの構築</p> <p>高齢者の増加に伴い、地域全体で高齢者福祉へ取り組む事に着重点を当てた地域包括ケアが行われている。地域包括ケアを効果的に行っていくためには、地域にある団体やサービスが連携しあう事が必要となる。本研究では、地域包括ケアに関わる団体を対象として、グループウェアの考え方を取り入れた、コミュニケーションを行う機会の提供と地域包括ケア業務の支援を目的とした情報システムを提案する。</p>
三浦 恭	<p>児童の通学のための安全マップ作製支援システムの構築</p> <p>近年、児童が犯罪・交通事故の被害者となる事案の割合が増加しており、特に通学時に起こる場合が多い。ゆえに児童の通学路の危険な箇所を共通の認識として有することが重要である。本研究では、主に学校だけでなく学童保育所へ通う児童を対象とし、児童の通学路における危険箇所を扱う安全マップを作製するシステムを構築した。これにより、情報の特性に基づく効果的な配信方法について検証する。</p>

(b) 博士(前期)論文概要

ソフトウェア設計学講座(菅原I研)に同じ

(c) 博士(後期)論文概要

ソフトウェア設計学講座(菅原I研)に同じ

(d) 講座所属学生が第一著者として査読ありの論文誌掲載論文一覧

ソフトウェア設計学講座(菅原I研)に同じ

(e) 講座所属学生が各学会で登壇発表した実績一覧

ソフトウェア設計学講座(菅原I研)に同じ

(f) 学生が単独で受けた受賞や表彰一覧

ソフトウェア設計学講座(菅原I研)に同じ